



横須賀商工会議所
6次産業化を応援!

「産農人」とは農作物をつくるだけでなく、市場ニーズを理解し流通させることのできるマーケットセンスを持った新しい農業人を表す造語。横須賀商工会議所と地域の農家・加工業者・飲食店・メーカーが丸となって、将来の農業を担う有用な人材の育成に取り組んでいます

「産農人」次のステージへ

5期目を迎えた「産農人」プロジェクトでは、現場で活躍する人材が次々に誕生。軌道に乗った活動をさらに拡大発展させるために新たな枠組みを設ける



農業を志す若者のための育成講座です!

若い世代の就農を後押しするため、経営的センスを持った「産農人」を育成する講座を開講します。農業技術だけでなく、収穫した農産物を使った商品開発や販売マーケティングなど、ビジネスに必要な知識・技術を学びます。詳細は、「産農人」専用ホームページをご覧ください。

2022年度 新メンバー募集中

農産に詳細案内



完成した「産農人」のPRポスター。
神奈川県下の公共施設などで張り出される

同プロジェクトの参加メンバーは、農産物の生産・加工・流通販売までを一気通貫で行う「6次産業化」を学んでいる。農産物の特徴などを一番理解している生産者がすべての工程に関わることで、新たな商品や付加価値を生み出すことを目指

ており、新産業としての農業(人)を確立させるという壮大なビジョンを描いている。活動は5期目となり、すでに現場の一端で活躍する人材が誕生している。「産農人」アドバイザーの下澤敏也さんが営む飲食店に勤務する卒業

生の佐藤藍音(20)さんは、商品開発部門で力を発揮。規格外野菜を利活用した新商品を次々と生み出している。生産現場を経験し、農家が抱えている課題を熟知しているからこそ解決策を自分の領域に持ち込むことができるのだ。

「6次産業化」をひとりですべてこなしていくことは難しい。「ただ、農業を広い視野で捉えて、市場や消費者を理解することができればビジネスチャンスをつかむことができるはず」と同商議所の小幡純さん。新しい農業経営を学ぶ場として「産農人」を機能させ、収入面を含めて一次産業の魅力を高めていくという。今後は高校生だけでなく、農業を志している大学生などの若者もメンバーに迎え入れて、活動の輪を広げていく考え。次世代の育成に協力してくる地域の農家や若い発想を求めている事業者との繋がりも深めながら、プロジェクトを大きく動かす。

生産者が市場をリード

新時代の農業人材育成に挑む横須賀商工会議所の「産農人」プロジェクトが、次のステージに移行しようとしている。若手農家や飲食事業者が指導役を務め、三浦初声高校都市農業科の生徒らと一緒に活動してきたこれまでの取り組みを拡大発展。対象を広げてメンバーを新たに募る。PRのためのポスターやホームページ、紹介動画も作成して周知を図っていく。

動画で発信！ 農業の未来形

「産農人」の考え方や実際の取り組みを紹介する動画が完成した。新たに開設した専用サイトで公開している。

生産・加工の実習現場レポートや、参加メンバーとアドバイザーが農業に対する率直な思いをリレー形式で発言していくなどバリエーションある作品となっている。ロス野菜の有効利用を目的に、新しいスイーツ商品の開発に挑む姿を伝えたものもある＝写真。

こうしたメディアを活用しながら農業に興味や関心を持つ若者に「産農人」をアピールしていく。協力事業者の参加も促して、活動のスケールアップを図っていく。



▲特設サイトは
こちらから

